

中学校 体育的行事を開催



当日グラウンドに整列した3年生約250人。例年ような全学年が集まり盛り上がる体育祭に比べると少し寂しいですが、コロナ禍で三密を避けるためにはやむを得ません。それでも若い3年生達の熱気でグラウンドは熱かった。【松村】



10月20日〔火〕、打瀬中では「体育的行事」という催しがありました。これは例年「体育祭」として行われている行事ですが、今年はコロナ禍のため全学年や関係者が一堂にグラウンドに集まって競技を行う形式では開催できないため、規模を縮小し、学年ごとに競技種目も絞った形で開かれたものです。このうち午後に行われた3年生の部を取材して来ました。

例年体育祭は学校行事の中でも音魂祭と並んで全学年が集まる大きな催しで、クラス対抗、学年対抗という側面もあり生徒か

らの人気の高い行事です。特に3年生にとっては、体育祭や音魂祭を通じてクラス



ごとの団結力を高め、その後の受験勉強に向けて気持ちを整理するための大きなきっかけになるイベントです。コロナ禍で音魂祭が中止になるなか、規模を縮小しても体育祭のような行事を行う事は学校にとっても3年生にとっても欠かせないことでした。

3年生の体育的行事は午後1:30～3:00の時間帯で行われました。種目は「なわとび」と「リレー」の2種目のみでした。2つともクラス対抗を前面に出した競技で仲間のために戦う表情はとても新鮮でした。雨のため本来予定していた10/17(土)が平日の火曜日開催となったため、お父さんの参加が少なく、さらにコロナ禍で大声を出しての声援がなくいつもの体育祭に比べると静かな印象でしたが、中3ともなると体格は高校生並み、部活で鍛えた締まった身体から発するエネルギーには圧倒されました。

表彰式で言われた学年主任の先生の、「今年3年生が全員揃うのはこの体育的行事が初めて。どのクラスにも強い団結力を感じた。この結束した力でこれから始まる進路の問題も乗り切って欲しい」という講評が印象的でした。

第27回ソフトボール大会

今年で27回目を迎えるベイタウン・スポーツ振興会主催の「ソフトボール大会」が10月11日(日)に美浜ふれあい広場野球場で開かれました。

今年はコロナ禍の影響でスポーツ振興会主催のスポーツイベントは春の大会(ソフトボール、グランドゴルフ、テニス)は全て中止になり、秋の大会もマラソン大会を含めて中止を決断する中、ソフトボールは参加チームの意欲と熱意が後押しして開催が決まり、出場チームを募集したところ何と9チームがエントリーしてきました。昨年の8チームより1チーム増加です。

運営面を引き受けていただく、少年野球チームベイバスターズの原さん、濱田さんを初めコーチの方々もこれには感激、綿密なコロナ対策を行った上で午後4:00の表彰式まで事故もなく無事終了しました。

前日まで降り続いた大雨で、グラウンド状態は悪く、開催も危ぶまれる状況でしたが、エントリー9チームのうち2チームが欠場したのみで7チームで開催。試合時間を短くするため急遽予定していた3グループの総当たり方式からトーナメント方式に切り換え、7チームで熱戦を繰り広げました。

準決勝2試合のうち1試合は同点でジャ



ンケンで決着、もう1試合は満塁押し出しで決着するというドラマチックな展開で決勝戦に。最後に残ったBB9(ベイバスターズ関係者チーム)対B-Pams(ベイパークのチーム)が手に汗握る戦いの結果、僅差で走・攻・守で僅かに上回るBB9が優勝カップを手に入れました。

毎年回を重ねるごとに各チームのレベルアップは凄まじく、次回の大会が今から楽しみです。

バドミントンクラブ「ベイヒッターズJBC」

ベイタウンには、スポーツサークルがたくさんあります。その中で創立わずか3年という小学生バドミントンチーム「ベイヒッターズジュニアバドミントンクラブ（ベイヒッターズJBC）」が、今めざましい活躍ぶりをみせています。コロナ禍にも負けず頑張っている子どもたちを紹介します。【小原】

練習を見学したのは10月初旬の夕方6時半すぎ。すでに練習場所の真砂コミュニティセンターの体育館は元気な声で満ちていました。皆生き生きとシャトルを追いかけています。子どもたちは、小学生各学年4人が定員ですが、現在は30人所属。練習時間は夕方5時から9時まで週5日。しかも、あまり休まず来るらしい。

このチームの創始者で代表を務めているのは、ビーチテラス在住の齊郷佳弘さんです。齊郷さんは、目標の一つに、従来のスパルタ式ではなく、ベイタウンらしい質の高いチームを作ることを目指していると言います。チームコンセプトは「楽しさは最大のヤル気スイッチ」。最初下手だった子どもたちも、飽きずに生き生き続けると、自然に強くなっていくというのです。

そのためには、バドミントンの練習だけでなく、サッカーやラグビーをアレンジしたチームスポーツの練習を取り入れています。自然と互いに声をかけあい、仲間を大切にすることを身につけます。パーベ

キューなど様々なイベントも、みんなで協力して企画実行するなど、運動能力向上と共に、「人」作りの大切さを忘れないのですね。

このコロナ禍で練習が思うようにできなかった時には、元日本代表の栗原文音選手のオンライン講座、それに止まらず実際に訪問して指導も受けました。マレーシア人の元世界チャンピオンにも訪問してもらい、英語で交流したり超一流のプレイを見せてもらいました。バドミントンはマレーシアの国技なのだそうです。とにかく本物を目の当たりにする、これ以上の刺激はありません。

そして、結果を求めずプロセス重視で活動した結果が凄かった。今年9月の全国小学生バドミントン大会千葉県予選では、30人中10人が各クラスのベスト4に入



賞。このクラブの創設当初から活動し、2年間キャプテンを務めた渡辺美遥さん（中学生になったので卒部はしてませんが）は、10月の千葉市中学校バドミントン新人大会地区予選シングルスで優勝しました。また、ユニークな活動ぶりが着目され、毎週土曜の朝9:55から10:25までフジテレビで放映されている「ライオンのゲータッチ」で、海浜打瀬小5年の齊郷友花さんと三代川由奈さんの特訓風景が、9月に3週連続放送されました。番組企画で元日本代表潮田玲子選手に指導されるというチャンスを与えられたのです。

このベイヒッターズJBCで子どもたちはどう変化するのか。前述の渡辺美遥さんのお母さんは、「自分からアクションを起こせるようになり、視野が広がった」と言います。また、現在中学1年で、このクラブを美遥さんとともに3年近く支えた伊野こはくさんも、「前よりも積極的に行動できるようになった」と自分の成長を実感しています。

「みんな元気で、仲が良く、上下関係がないところが、このクラブの良いところ」という美遥さんの言葉を聞くと、バドミントンは個人競技ととらえるのは片手落ちなようです。個よりも仲間を大切にすることを知り、自分の居場所ができると、子どもは存分に頑張ることができるのですね。「楽しさは最大のヤル気スイッチ」。練習をしている小学生の中には、何度も空振りをしている子もいました。でも、いつまでも嫌にならずに生き生きと続けている姿から、目が離せませんでした。きっとスイッチが入ったのでしょう。伸びしろがたっぷり、1年後が楽しみです。

エコパークの「ひょうたん」と「キバナコスモス」

10月の初めの頃、久しぶりにエコパークに行くとならぬ瓢箪（ひょうたん）がいくつもぶら下がっていました。最初は大きいのが1つトンネルのようになった竹の棚の入り口にあったので、てっきり中身を抜いた瓢箪をぶら下げたのだと思ったのですが、よく見ると竹の棚には他にもいくつもぶら下がっています。それで初めて気がつきました。瓢箪の実がなっているのだと。瓢箪は昔、水やお酒をいれる水筒として、竹の筒などと同じように便利な容器として使われたものです。口の部分に小さな穴をあけ、そこから中身を取り出して空洞にすれば立派な水筒になります。これを使って工作教室をやれば面白いでしょうね。こんな学校の持って行けば注目度No.1です。なんとも面白いものを育てたのだと感心しました。

同じ日。エコパークではキバナコスモスがたくさん咲いていました。ベイタウンではこのキバナコスモスがよく見られます。潮風にも強い花で、少しの空き地があればよく育ちます。でもベイタウンでは同じ秋を代表するコスモスが見られません。コスモスはいろんな色があり、一面に咲くととても絵になるのですが…。実はベイタウンでも昔はコスモスが咲いていました。ベイタウンに建物が少なかった頃、まだ学校や公園ができていない原っぱにはコスモスがたく多く植えられていました。海の砂で埋め立てたベイタウンは土が塩分を多く含んでいて、草花が育たなかったため、土壌改良のために沢山の草花が植えられていたのです。コスモスもその中にあり、マンションや学校が建てられた後も空き地にはたくさんのコスモスが残っていました。ところが建物がたく多く建つと、すぐにコスモスは消えてし



まいました。原因は夜の灯りです。コスモスは夜の光に弱く、夜が明るいとうたないのだそうです。しかし秋にはコスモスが欲しい。そこで当時の打瀬中の校長先生が夜の灯りがあっても咲き、潮風にも強いキバナコスモスを植えて育てたのがベイタウンに広まったのだそうです。今はキバナコスモスがベイタウンの秋を彩っています。

ジュニアコーラス フェアリーズ 第16回 定期演奏会 (上映形式、オンライン視聴もできます)

日時：11月15日(日) 開場 13:45 開演 14:00

会場：コア・ホール

ジュニアコーラス フェアリーズ (2020 千葉県芸術新人賞 千葉県アンコン金賞・朝日新聞社受賞)

指揮：森本真由美

ゲスト (バレエダンサー): 佐藤杏菜

後援：千葉市 千葉市教育委員会

コアホールで動画上映形式で演奏会を行い。同時にオンライン配信を行います。URLはHPでお知らせします。今年の定期演奏会はお家でもご覧になれますよ!

フェアリーズHP：<http://jc-fairies.net/>



上映会にご参加希望の方は、

「お名前 学校名 学年 連絡先」をメールにてご連絡ください。

入会希望の方へ説明会も行います。

(会場へお越しの際は、マスク・消毒・検温等のご協力をお願い致します。)

親の「しゃべり場」開催のお知らせ 青少年育成委員会

小・中学校のお子さんをお持ちの保護者を対象に、子育てについて少人数グループで話し合います。日頃子どもと向き合っていること、地域のこと、気分転換等…何でも話せる会となっています。何かしら解決の糸口になるかもしれません。

子どもに関わっている方ならどなたでも参加できます。

※学区内の小・中学校に通学されているお子さんのご家庭には、月初めにお手紙が配布される予定です。下記のQRコードよりお問い合わせをいただいても結構です。

※昨今のCOVID19の影響により、参加されます方は手洗い、マスク等のご配慮をお願いします。また、連絡無く中止となる場合がありますこと、ご了承ください。



日時：11月26日(木) 10時～12時

場所：ベイトウン・コア 講習室

Makuhari Beach Clean に参加してみませんか?

毎月第4土曜日、Makuhari Beach Cleanをやっています。ベイトウンをはじめ、海浜幕張のホテル、野鳥の会関係者など約50名の参加でにぎわっています。

一見美しい海岸も、波打ち際をよく見ると、お菓子の袋やマスク、タバコの吸い殻、ライター、使い捨て容器などが捨てられています。また、紫外線や波の力で削られたと思われるプラスチック製品も見つかります。海に流れたプラスチックは、生物に蓄積され、将来私達の健康にも影響を及ぼすのではないかと懸念があります。

まずは現状を知ることから始めませんか? 浜を歩きながら、野鳥を観察しながら、一緒にゴミ拾いをして、「幕張の浜」から地球環境の改善に向けて、できることを考えていきましょう。ご家族そろっての参加をお待ちしています。



次回 11月28日(土) 10:00～11:00 集合 9:45 JFA
クラブハウス前

当日自由参加。雨天中止(朝7時にホームページで案内有)

詳細はここから

☆ビーチクリーン隊

<http://kokokara-bc.jugem.jp/kokokarabeachclean@gmail.com>

10月号「すわ オスプレイ?」記事について お詫びと訂正

ベイトウンニュース10月号(先月号)の上記記事について、発行後多くの方から事実誤認についてお知らせをいただきました。

記事中の「飛行体」はオスプレイではなく、千葉市の救助用ヘリで、当日同時刻に花見川で水難事故があり、救助に出動したため低空で飛行していたことが千葉市消防局のホームページに掲載されていました。記事はこの救助ヘリをオスプレイの試験飛行と推測して書かれたものであると判明しました。

十分な裏付けを取らず、推測や思い込みで記事にしてしまったことはこちらの誤りであり、みなさまにご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

ベイトウンニュースは月刊のため、お詫びと訂正が遅くなりました。

今回の記事では多くの方からメール等でご指摘をいただきました。改めてベイトウンニュースが多くの方に読まれていることを感じ、読者の皆様とのつながりを感じました。感謝致します。今後ともベイトウンニュースをよろしく願います。

迷い猫

セントラルパーク・ウエスト敷地内(B棟付近)に8月上旬から猫が居着きはじめました。10月20日にCPWのペットサークルの会員が見るに見かねてようやく保護しましたが、ガリガリにやせ、ちょっとした音にも敏感に反応して恐がります。

動物病院につれて行きました。「経緯と猫の様子から飼い主がいるものと思われるので、のちにトラブルにならないために一切処置ができない、動物保護指導センターと警察署に届け出をして指示を仰ぐように」と言われました。それからでないと保護もできないそうです。現在猫は(手続き中ですが)拾得物として3ヶ月間保護が認められることになり、捕獲したCPWの住民がそのままボランティアで預かっています。

コロナ禍でペットを飼う人も増えたようですが、逆に育てられなくなって遺棄も多いという話も聞きます。

この猫が、どのような経緯で飼い主から離れたのかは定かではありません。小さくても命。猫は心の傷が大きく、普通に戻るまで数週間かかるかもしれないと病院で言われました。猫の不信感に満ちた眼差しが、安心感に満ちたものになるのはいつになることでしょうか。



「なんでも投稿」スペースを開設します 投稿募集中

12月号より、「なんでも投稿」スペースを作ります。みなさんからの投稿を何でもお送りください。会員募集のためのサークルやクラブの紹介、ベイトウンとその近辺で開かれるイベントのお知らせ、何でも結構です。もう終わったイベントの紹介でも大丈夫です。ベイトウンに関係があり、宗教や政治に関係なく、営利目的でなければ基本的には内容は問いません。

記事の大きさやレイアウトはベイトウンニュース編集部で考えます。編集部で記事化したいと思ったイベントは取材させていただくこともあります。今月号のバドミントンクラブの記事は、クラブからの投稿があり、こちらで取材させてもらったものです。

次の内容をベイトウンニュース編集部あてにメールでお送り下さい。内容を判断してこちらから連絡させていただきます。

投稿に必要な内容：イベント名、日時、場所、主催者名、内容の紹介文、写真(掲載するかどうかはこちらで判断させていただきます)、投稿者のお名前と連絡先(メールと電話番号)をお知らせ下さい。

投稿先：松村 メール：mazmbtn@gmail.com



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

公民館主催講座は、いわゆる「三密」を避け、新しい生活様式のもとで開催しております。手指の消毒、マスク着用、人数制限下での開催ですが、皆さまの参加を心よりお待ちしております。

● 11月の体験講座～11月2日より受付開始

パソコン講座「ワード&エクセルでハガキを作ろう」

日時：11月24日(火)、25日(水)、26日(木)、27日(金)

いずれも 13:30～16:30

場所：打瀬公民館講習室

講師：千葉市生涯学習センター職員

対象：文字入力ができる成人(定員：先着10人)

参加費：1,200円

パソコンはこちらで用意します。

◇ 申込方法

9時から直接打瀬公民館窓口または電話で申込

〈問い合わせ〉打瀬公民館 電話：296-5100

※状況により中止の場合があることをご承知ください。

● 12月の主催講座～12月2日より受付

大人の折り紙教室「来年の干支、丑を折りましょう」

日時：12月16日(水) 10:00～12:00

場所：打瀬公民館工芸室

講師：打瀬公民館職員

対象：成人(定員：先着12人)

費用：300円



プロから教わる本格中華「大海老のチリソース」

日時：12月21日(月) 10:00～12:00

場所：打瀬公民館調理室

講師：元中国料理店料理人

対象：成人(定員：先着8人)

費用：1,500円



郷土史講座「加曾利貝塚入門」

日時：12月23日(水)

10:00～12:00

場所：打瀬公民館講習室

講師：千葉市教育センター 百瀬一郎先生

対象：成人(定員：先着16人)

費用：無料



11月のコア・イベント

第196回ファツィオリの会

日時：11月22日(日) 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏やその他の楽器演奏をして頂けます。ただし、今回もコロナウイルス感染拡大防止対策として、歌唱、金管楽器演奏は行えません。また入場人数の制限、演奏中も換気のためホールドアを開放など新しい形での開催となります。担当者の指示に従って、ご参加頂きますようお願い申し上げます。非公開でのご利用も受付けております。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：11月15日(日)

申込先：090-8340-8435(青木)

11月23日(土) 寺子屋工作ランド

「やじるべえ」

日時：11月28日 第4土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

今月はベイタウンにもたくさんあるドングリの実をつかって「やじるべえ」をつくります。

持ってくるもの：クレヨン、サインペンなど

参加費：50円(保険料)

キュービックカフェ 11月・12月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックカフェの日!

◆ 11/9(月) 11時～16時

@キュービックカフェ

◆ 11/21(土)、28(土) キュービック「クリスマスマルシェ」@コミュニティスペース絆

いずれも11時～16時まで

イベント最新情報・お問い合わせは

キュービックカフェホームページ:

<https://www.cubic-cafe.com/>



わくわくおはなし会 11月の常設おはなし会

11月のおはなし会は完全入れ替え制の2回公演

日時：11月21日 土曜日

時間：1回目は10時から 2回目は11時から

プログラムは各回同じ内容、1回45分程度の完全入れ替え制

場所：ベイタウン・コア工芸室

定員：各回12名(感染防止の観点から十分な距離を取らせて頂きます。マスク着用でご参加ください)

ご好評につき10月から2回公演としました。感染症対策として、予約・定員制となりますので、ご参加希望の方は下記メールアドレスにて、代表者のお名前・ご参加人数(お子様の場合は年齢も)・ご希望の時間を明記の上、お申込みください。年齢制限はありません。

皆さまに安心安全にご参加いただけるよう、細心の準備をして開催させていただきます。

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

◆お申込み・お問合せ先 waku2book@gmail.com

ベイタウンニュースの発行に協力してくだる方を募集します

ベイタウンニュースの発行を助けてくれる方を募集しています。イベントや街の出来事をお知らせしてくれる方、記事を書いてくれる方、ベイタウンニュースの配布をお手伝いしてくれる方、紙面のレイアウトや編集、校正など、どんな形でものご協力でも結構です。気の向くときに、気付いたときだけのご協力でも歓迎です。

お気軽にご連絡ください。

TEL: 043-211-6853、E-mail: mazmbtn@gmail.com (松村)

11月のベイタウンかふえ ～憩いの場復活～

11月11日(水) 13:30～16:00(何時でも出入り自由)

コロナウイルス感染症対策を施し、皆さまのお越しをお待ちしております。

10月のかふえでは、ジャズピアニストの生演奏のBGMの中、コーヒーを飲みながら皆さんとの交流を楽しみました。ゆったりと演奏を鑑賞する時間もあり、潤いのある憩いのひと時となりました。

11月のかふえにも、生演奏を予定しております。

福祉の専門職に気軽に話ができる絶好の機会をご活用下さい。

問い合わせや、連絡等がありましたら、

うたせ認知症を考える会 中澤(TEL: 211-0588)までどうぞ。